



### みんな一緒に催しても新鮮

(左から)  
坂本 八代江さん (41) 楢葉町大字山田  
現住所 会津美里町字宮里の仮設住宅  
佐土原 由美さん (38) 楢葉町大字山田  
現住所 会津美里町字宮里の仮設住宅

「流しそうめん、すいか割りなど、仮設住宅に住む以前は各家庭で行っていたことをみんなで一緒にすることがとても新鮮で、子どもたちも楽しんでいるようです。会津美里町の人達にはなにかと提供してもらい、本当に良くしてもらっています。」

### たくさんのイベント計画中

梶原 活司さん (46) 楢葉町大字前原  
現住所 会津美里町字宮里の仮設住宅

楢葉町仮設住宅の自治会長。持ち前のリーダーシップでたくさんの人の生活を支えてきた梶原さん。実行委員会を立ち上げ、協賛金を集めなど工夫をして夏祭りを開催。「まだまだたくさんのイベントを計画中です！」



### 雨模様でも露店に“華、

(前列左から)  
川島 美幸さん (35) 浪江町川添  
現住所 福島市郷野目の借上げ住宅

大友 佳子さん (59) 浪江町幾世橋  
現住所 福島市南矢野目の仮設住宅

草刈 はるよさん (58) 浪江町権現堂  
現住所 須賀川市向陽町の借上げ住宅

(後列左から)  
原田 アキイさん (59) 浪江町権現堂  
現住所 会津若松市日新町の借上げ住宅  
矢沢 浩子さん (51) 浪江町権現堂  
現住所 福島市森合の借上げ住宅

二本松のちょうちん祭りに「大堀相馬焼」の露店を出店。あいにくの雨で「売れ行きはいまひとつ…」でも笑顔の応対で祭りに華を添えていた。

### 白河のみなさんの応援で元気

猪狩 敬子さん (68) 双葉町大字長塙  
現住所 白河市郭内の仮設住宅

「仮設に入って1ヶ月半、初めは不安でしたが白河の方々に応援してもらい、今は元気に明るく管理人をしていますよ。」

## 福島の未来を取り戻そう!!



### いわき 福島一沖縄“踊り”が紡いだ

糸

いわき市の「じゃんがら踊り」が起源とされる沖縄の伝統芸能「エイサー」。九月十八日(日)に行われた東日本大震災犠牲者の慰靈、復興支援のイベント「復興エイサー in いわき」で、両者は共演を果たし、市内各所で多彩なパフォーマンスを繰り広げ大勢の市民に感動を与えた。同市内の有志らでつくる実行委員会(新城憲一委員長)が主催、沖縄市の久保田青年会、東京都の中野チヤンブルーフェスタ、地元のじやんがら踊り隊らが参加した。津波で大きな被害を受けた平薄磯地区で慰靈の踊りを奉納したのを皮切

りに、市内各所を一日がかりで回った。JR湯本駅前の商店街では、エイサーを踊りながら練り歩く「道じゅねー」が披露され、市民エイサーは沖縄でお盆の時期に踊られる伝統芸能で、十七世紀の初頭、いわき出身の浄土宗の高僧・袋中上人が故郷の念佛踊りを伝えたのが起源といわれる。今回のイベントは「故郷」を襲った未曾有の大災害を見舞った未曾有の大災害を見舞い、元気づけるため約四百年の時を経て「里帰り」として、新たな「糸」の大きな輪を広げた形だ。

新城委員長は「地元に沖縄文化を紹介する活動の中



#### ▼10月15日の会場で歓談する住民



十月十五日には、小雨混じりの生憎の天候ながらも多くの方が訪れ、参加者は「こういった場を提供してくれて嬉しい。久しぶりの再会や新たな出会いがあり、色々な人と話せるきっかけにもなるので、定期的に開催してほしい」と口を揃えて話していた。県中地域糸づくり支援センターでは、今後も「仮設de仮設カフェ」の活動を展開していく予定で、開催を希望する自治体もしくは仮設住宅に住む方々の連絡を待っている。連絡先は、電話024(94)40083、梅津宏之さんまで。

てまとめた。この活動の中で行われたのが「仮設de仮設カフェ」というイベント。県中地域糸づくり支援センターでは、岩佐准教授らの協力を得て福島版の「仮設de仮設カフェ」を行うことになった。九月二十五日の会場では、集会所前に喫茶スペースと情報を集めたブースを設置。住民らがお茶を飲みながら情報交換をし合うなど盛況だった。久仁子さんがボランティアとしてイベントに参加した。